

津久井やまゆり園事件 追悼の言葉

19名の尊い命が失われた津久井やまゆり園事件から4年が経とうとしております。犠牲となられた方々の御霊に対しまして、相模原市民を代表し、謹んで哀悼の意を表します。

平成28年7月26日、津久井やまゆり園において、わが国でも稀にみる極めて非道な行為が発生いたしました。本年3月には、刑事事件の裁判の判決が確定しましたが、突然愛する家族を奪われた御遺族の皆様方の、決して癒えることのない御心痛をお察しいたしますと、哀惜の念に堪えません。

事件の犠牲となられた方々は、津久井やまゆり園の職員をはじめ、地域の多くの皆様に愛されながら、穏やかな毎日を過ごされておられました。その日常を一瞬にして奪い取られた無念さに思いをいたしますとき、今なお、尽きることのない悲しみと強い憤りがこみ上げてまいります。

こうした悲惨な事件が二度と起こらないようにするためにも、事件の記憶を風化させることなく、一人ひとりが、障がいのある方への理解を一層深め、相互に人格や個性を尊重し合う、偏見や差別のない共生社会を築いていくことが、私たちの使命です。

本市では、すべての人の命は平等でかけがえのないものであるという理念のもと、障がいの有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らすことのできる「共にささえあい 生きる社会」を実現するため、障がいに関する理解の促進や差別解消に向けた取組等を全力で進めているところです。

現在、利用者の皆様の津久井での新たな生活に向けて、神奈川県による施設の再整備が進んでいます。本市においては、今後も御遺族の皆様、津久井やまゆり園利用者の皆様、御家族の皆様に寄り添った支援に努めるとともに、障がいのある方々が、地域や周囲の皆様の深い理解と支えの中で心穏やかに暮らすことができるよう、国や神奈川県、関係機関と連携を図りながら、一つ一つの課題に真摯に向き合い、72万市民とともに邁進していくことを、お誓い申し上げます。

ここに改めて、事件の犠牲となられた御霊の安らかならんことをお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆様方の御平安を心から祈念し、追悼の言葉といたします。

令和2年7月20日

相模原市長 **本村賢太郎**